

愛犬の行動観察と満足度調査

設問集



愛犬の行動と満足度に関する設問及び回答選択肢が記載されています。
ひとつずつお読みいただき、それへの回答を選んでください。

まずは設問集の選択肢にチェックを付け、その後マークシートを塗りつぶしてください。
設問集も回収となります。



回答する際の注意事項

1. あなたが選択した情報を基礎にした評価です。
このアンケート調査では、飼い主様にお答えいただいた情報を基礎にしてすべての判断を行います。それゆえ、設問で問われた行動の有無及び頻度について、可能な限り正確にお答えください。ご協力をお願いいたします。
2. いつの時点の行動を問うているか？
6 か月齢を過ぎたあとの行動について、直近の 1～2 か月を振り返って回答してください。
3. 設問の表現について
 - ① 列挙された複数の行動のうちの1つが認められれば、その行動があるものとして回答してください。「まれに」「時々」「たいてい」「常に」は、その行動がある場合に、その頻度を回答するための選択肢です。観察された行動の頻度に応じて、いずれかを選択してください。
 - ② 「同居家族が複数いる場合」とは、あなた以外の同居人が最低1人はいる場合を言います。同居人がいない場合は、「この場面に出会ったことがない」を選択してください。
4. 回答選択肢の表現について
選択肢には数種類の表現が出てきますが、それぞれ次のような意味で使われています。厳密な頻度ではなく、おおよその頻度をお聞きしています。

1. まったくそうでない	ほぼ0%の頻度
2. まれにそう	10～30%程度の頻度
3. 時々そう	40～60%程度の頻度
4. たいていそう	70～90%程度の頻度
5. 常にそう	ほぼ100%の頻度
6. この場面に出会ったことがない	この場面にそもそも出会ったことがない場合、頻度を判断できるだけの回数に出たことがない場合に選択してください。



Section.1 犬の基本情報

Q1. 愛犬の体重をキログラムで回答欄に記入してください（例 7.0 キロ）

_____ キロ

Q2. 避妊・去勢はしていますか？

1. はい 2. いいえ

Q3. 愛犬に疾患はありますか？

1. ある 2. ない

→「1. ある」と答えた方は、その内容を自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. 愛犬の性格診断を希望されますか？

1. はい 2. いいえ

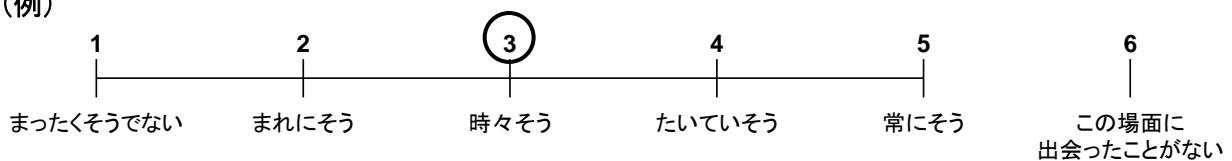
Section.2 犬の行動に関する質問

トレーニングと従順さ

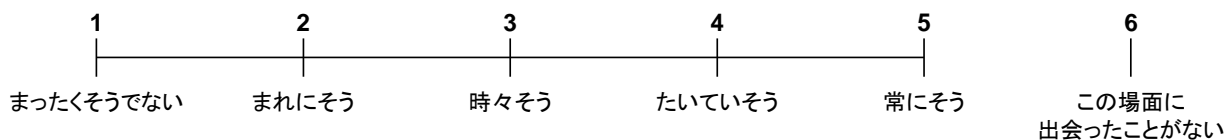
犬はその個性によって、服従性が高くトレーニングしやすい犬と、あまりそうでない犬がいます。以下の項目について、あなたの犬がどれだけトレーニングしやすいか、最も該当すると思う数字に○をしてください。



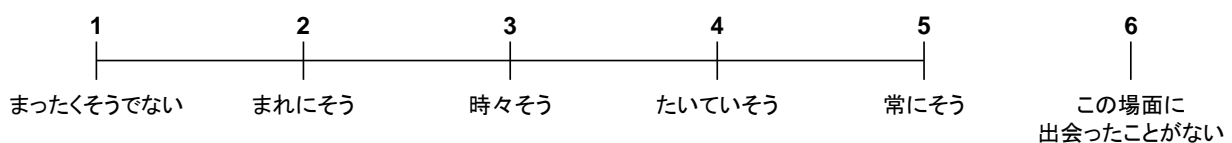
(例)



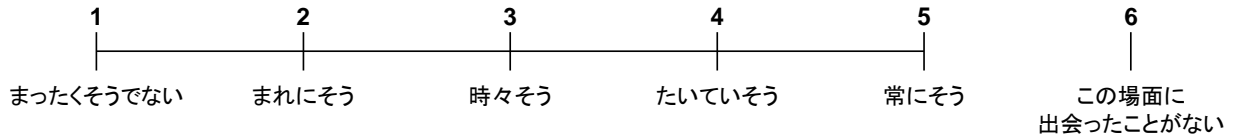
Q5. リードを外した状態でも呼べばすぐに戻ってくる



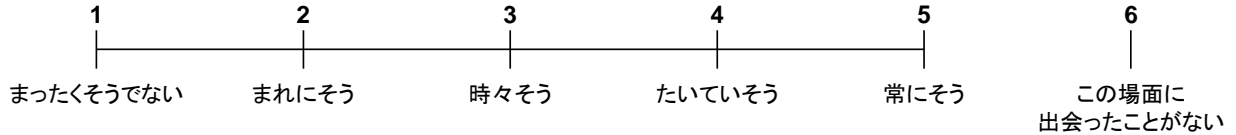
Q6. オスワリの指示にすぐに従う



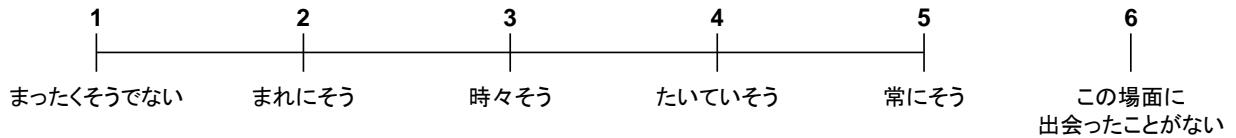
Q7. マテの指示に確実に従う



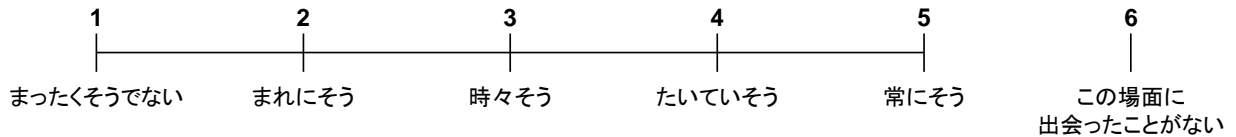
Q8. あなたが言うことやすることすべてに、しっかりと注意を向けているように見える



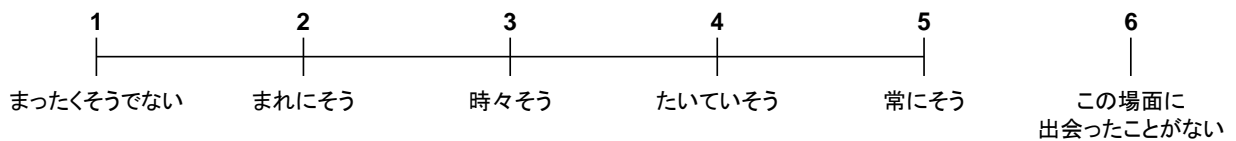
Q9. 修正する指示を与えたり叱られたりすることに対しての反応が遅い、鈍感である



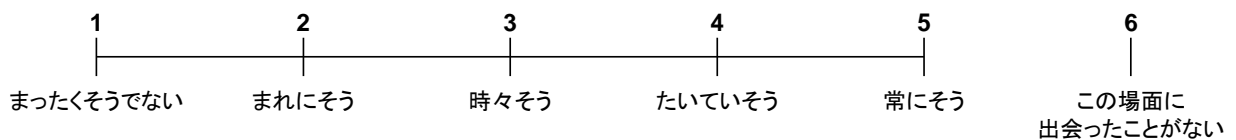
Q10. 新しい指示や芸当を習得するのが遅い



Q11. 興味のわく光景・音・匂いがあるとすぐに注意散漫になってしまう



Q12. 棒やボールなどの物を持って来る素振りを見せたり、実際に持ってこようとする



攻撃性

犬は時々、攻撃的な行動を見せることもあります。対象犬の最近の攻撃性について以下の5段階評価のうち、最も該当すると思う数字に○をつけてください。

中間レベルの攻撃行動のサイン → 吠える、唸る、歯をむき出す

高いレベルの攻撃行動のサイン → 追いかける、咬む、または咬もうとする



Q13. あなたや家族から口頭で注意された、または叱る・怒鳴るなどの罰を与えられたとき



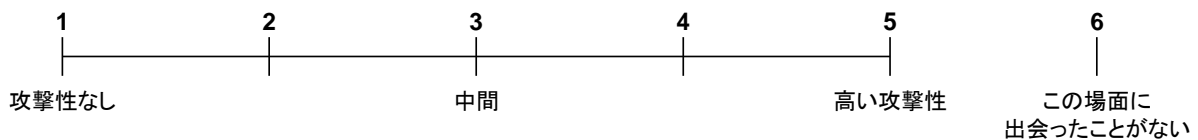
Q14. 散歩中や運動中に、見知らぬ大人が近づいてきたとき



Q15. 散歩中や運動中に、見知らぬ子どもが近づいてきたとき



Q16. 犬が車に乗っているときに、見知らぬ人が車に近づいてきたとき



Q17. あなたや家族の誰かが、おもちゃやガムを取り上げたとき



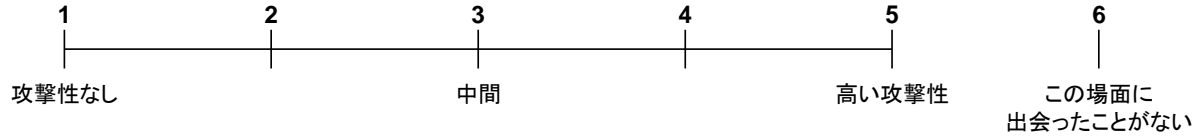
Q18. あなたや家族の誰かが、シャンプーやブラッシングをしてあげているとき



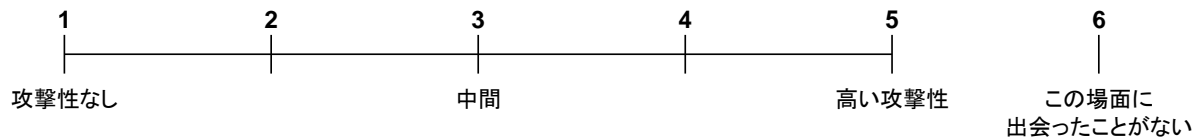
Q19. 家にいるときに、愛犬の見知らぬ人が訪問し、あなたや家族に近づいたとき



Q20. 家の外で、見知らぬ人があなたや家族に近づいたとき



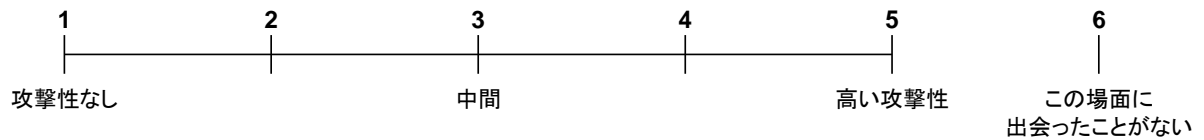
Q21. 犬がご飯やおやつを食べているときに、あなたや家族の誰かが犬に近づいたとき



Q22. 郵便配達員や他の配達員が家に近づいてきたとき



Q23. あなたや家族の誰かが犬のご飯を取り上げたとき



Q24. 犬が玄関先や庭にいるときに、知らない人が家の前を通り過ぎたとき



Q25. 見知らぬ人が犬に触ったり撫でようとしたとき



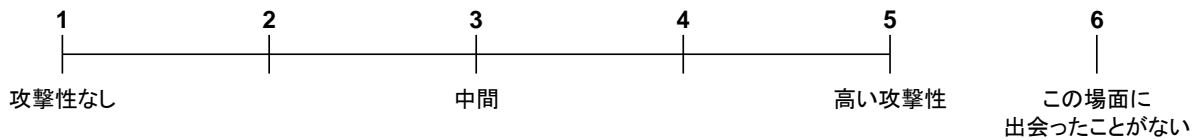
Q26. 犬が玄関先や庭にいるときに、ジョギングしている人、自転車、バイクに乗っている人が家の前を通り過ぎたとき



Q27. リードをつけて散歩/運動をしているときに、知らないオス犬がまっすぐ近づいてきたとき



Q28. リードをつけて散歩/運動をしているときに、知らないメス犬がまっすぐ近づいてきたとき



Q29. あなたや家族にじっと見つめられたとき



Q30. 知らない犬が家に来たとき、その犬に対して



Q31. 家の庭に入り込んできた猫やその他の小動物に対して



Q32. 見知らぬ人が家に来たとき、その人に対して



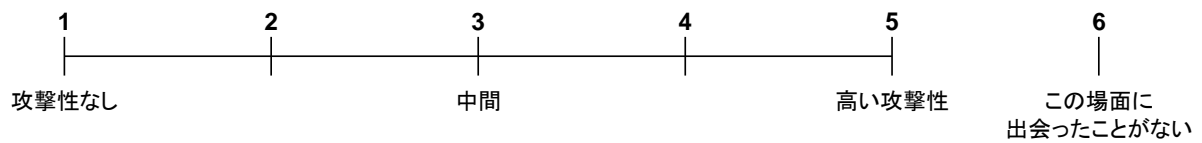
Q33. 知らない犬が吠えたり、唸ったり、急に近づいてきたりしたとき



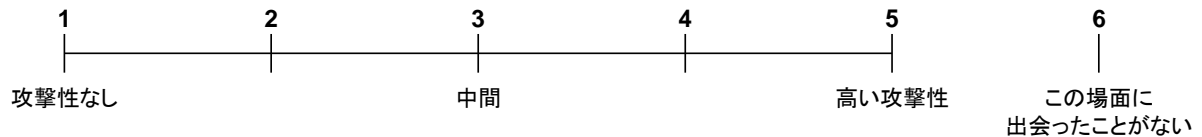
Q34. あなた、または家族の誰かが犬をまたいだとき



Q35. あなたもしくは家族の誰かが、犬が盗んで持っていったフードや物を取り返すとき



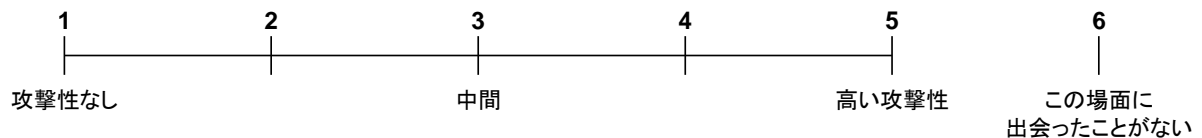
Q36. 家で飼っている他の同居犬に対して



Q37. 犬がよく休憩したり寝たりする場所に、他の同居犬が近づいてきたとき



Q38. ご飯を食べているときに他の同居犬が近づいてきたとき



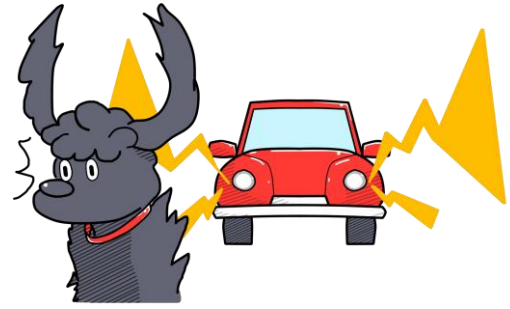
Q39. お気に入りのオモチャやガムなどで遊んでいたり噛んでいるときに、他の同居犬が近づいてきたとき



他にあなたの犬が時々攻撃的になるシチュエーション（状況）がありますか？もしあるならば、簡潔に自由記述回答用紙に記入してください。

恐怖と不安

犬は、特定の音や物、人、状況にさらされると恐怖や不安を表す行動を示すことがあります。対象犬の最近の恐怖や不安を表す行動の傾向について以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。



軽度から中間の恐怖のサイン → 目をそらす、尻尾を低くする、動かなくなる、震える、くんくん鳴く、唸るなど

極度の恐怖のサイン → 逃げる、ちぢこまる、その状況や恐怖を与える人・物から必死になって逃げようとしたり隠れようとしたりする

Q40. 家の外で、見知らぬ大人が近づいてきたとき



Q41. 家の外で、見知らぬ子どもが近づいてきたとき



Q42. 突発的な音や、大きな騒音に対する反応（例：掃除機、バイクの「パン！」というマフラー音、工事現場の音、物を落としたときの音など）



Q43. 見知らぬ人が家を訪れたとき



Q44. 見知らぬ人が犬を触ったり撫でようとしたとき



Q45. 散歩中、渋滞している道路の近くを通ろうとしたとき



Q46. 道路にある見慣れない物（ビニール袋、落ち葉、ゴミ、はためている旗など）への反応



Q47. 獣医師に診察や処置をしてもらうとき



Q48. 雷や花火の音、またはそれに近い音に対して



Q49. 大きさが同じかそれ以上の見知らぬ犬がまっすぐ近づいてきたとき



Q50. 自分より小さいサイズの見知らぬ犬がまっすぐ近づいてきたとき



Q51. 生まれて初めての状況（初めてエレベーターに乗ったとき、初めて車で旅行するとき、初めての動物病院など）での反応



Q52. 風や、風になびいたり飛ばされる物に対して



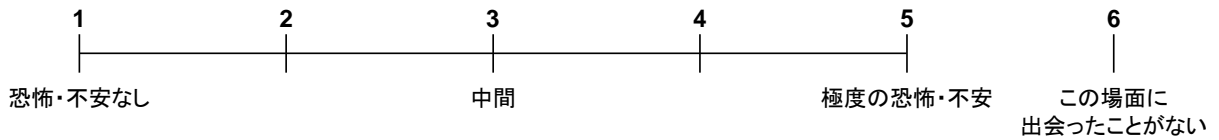
Q53. あなたもしくは家族の誰かに爪を切られるとき



Q54. あなたもしくは家族の誰かにシャンプーやブラッシングをしてもらうとき



Q55. あなたもしくは家族の誰かに足を拭かれたとき



Q56. 見知らぬ犬が家を訪れたとき



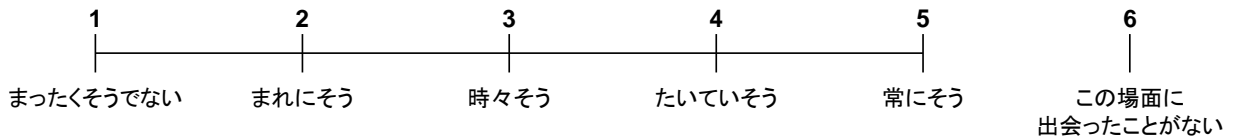
Q57. 見知らぬ犬が吠えたり、唸ったり、急に近づいてきたりしたとき



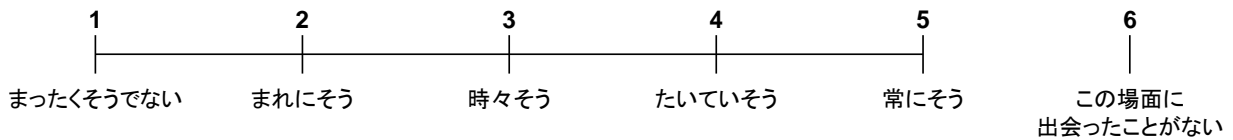
分離に関する行動

犬はたとえ短い時間でも、一人にされると不安を示したり、いつもと違った行動を見せたりすることがあります。最近のことを思い出して、あなたの犬は留守番などで一人にされたとき（または家をあける直前に）、最も該当する言葉の上の数字に○をしてください。

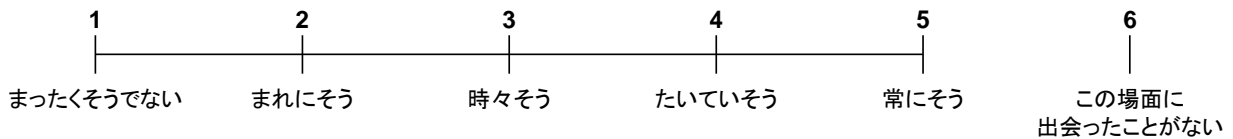
Q58. 震えている



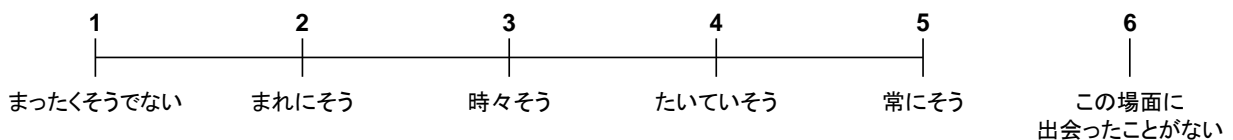
Q59. 過剰に唾液を分泌する、よだれを垂らす



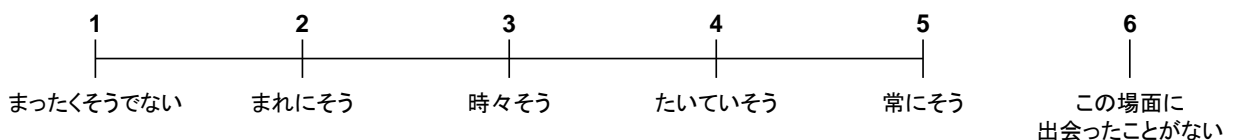
Q60. 落ち着かなくなる、動揺する、歩き回る



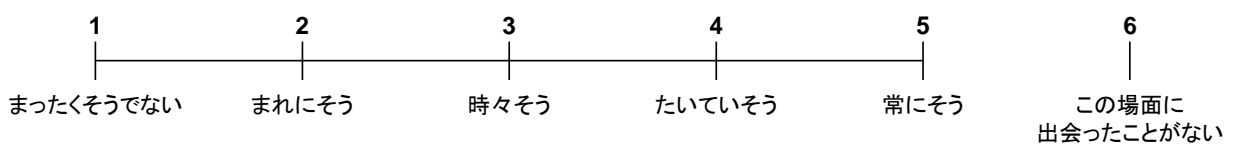
Q61. くんくん鳴く



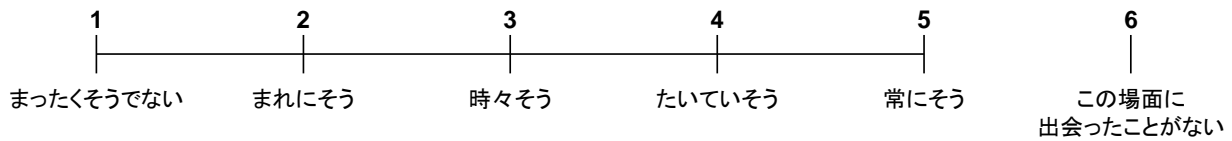
Q62. 遠吠えする



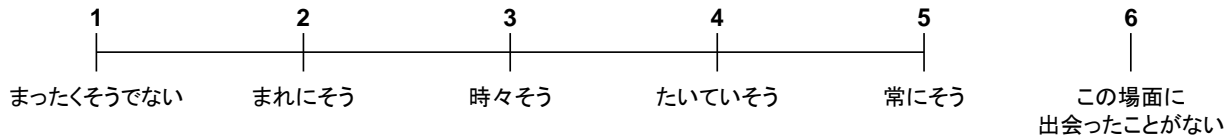
Q63. 吠える



Q64. ドア、床、窓、カーテンなどを引っ掻いたり噛んだりする



Q65. 食欲がなくなったり、何もしなくなったりする



以上の他に、犬が恐怖や不安を感じるような状況があれば、自由記述回答用紙に簡潔に記入してください。

興奮性

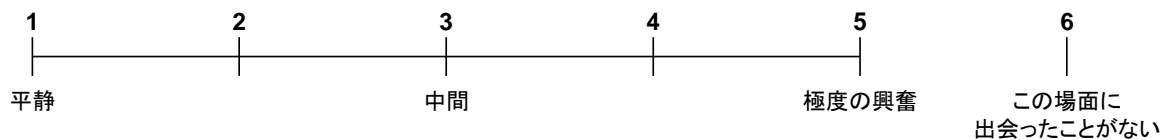


犬の中には、周りで何が起きてもそれに全く反応しない犬や、反対にちょっとした物事にも敏感に反応して興奮する犬もいます。以下のような状況で、対象犬の最近の興奮性について、以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。

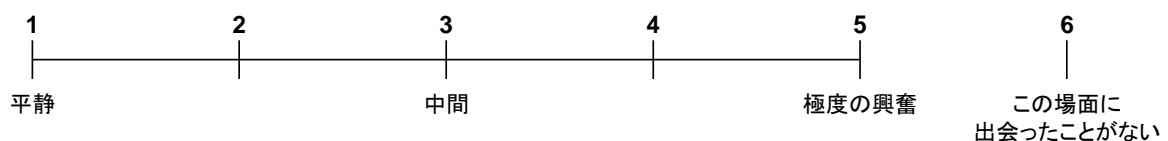
軽度から中間の興奮 → 目新しい物に向かって行ったり警戒したり吠えたりする

極度の興奮 → 非常にささいな出来事でもその対象に対して過度に吠え立てたり、興奮の原因となるものに向かって飛び出したりして、鎮めるのが困難な場合

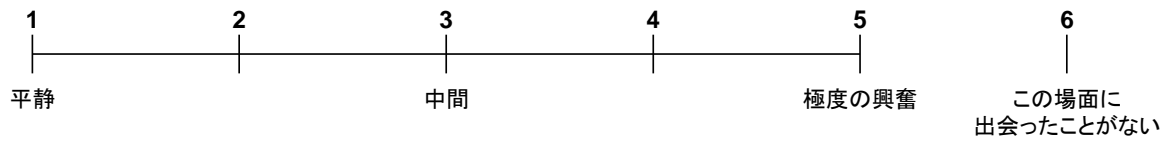
Q66. あなたもしくは家族の誰かが短時間の外出をして帰ってきたとき



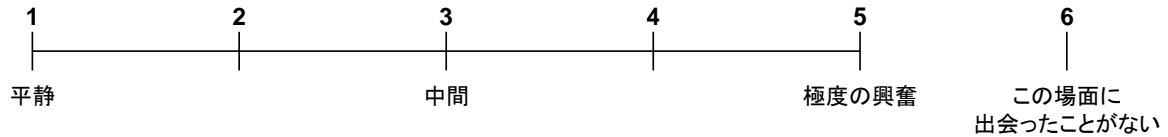
Q67. あなたもしくは家族の誰かが犬と一緒に遊んでいるとき



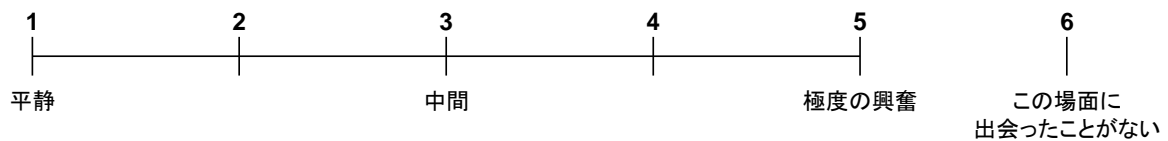
Q68. インターホンが鳴ったとき



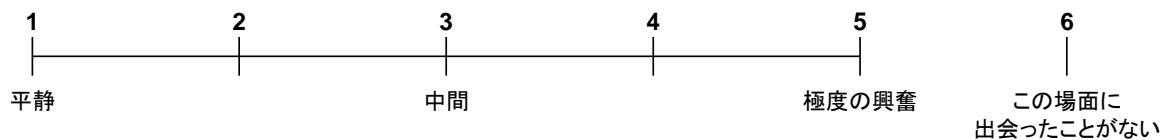
Q69. 散歩に連れて行く直前



Q70. 車で出かける直前



Q71. お客さんがあなたの家に到着したとき

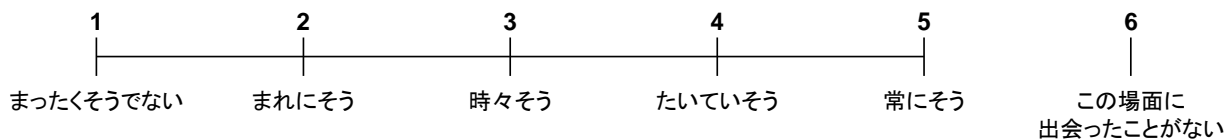


上記の他にも、犬が過度に興奮してしまうような状況があれば、自由記述回答用紙に簡潔に記入してください。

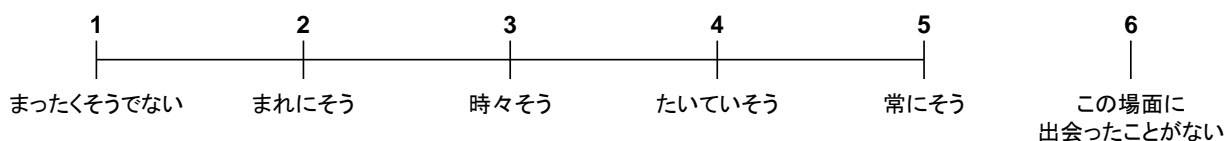
接触や注意を求める行動

多くの犬は、飼い主に対して接触行動を示します。その中には、飼い主に対してたくさんの注目や愛情を求める犬もいます。最近の犬の様子を思い出して、以下のような接触や注目を求めるようなサインの頻度について、最も該当すると思う数字に○をつけてください。

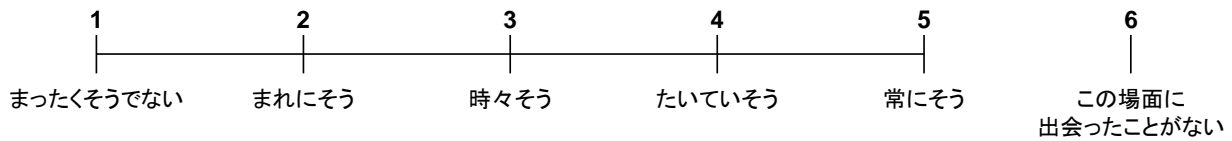
Q72. 同居家族が複数いる場合、そのうちの一人に対して特に強い愛着を示す



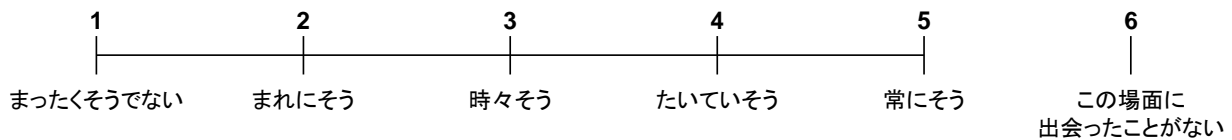
Q73. 家の中で、あなたや家族の誰かに付いて歩く



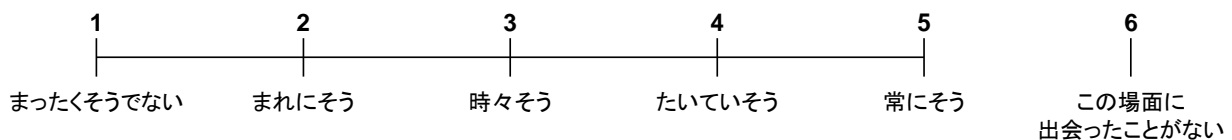
Q74. あなたや家族の誰かが座っていると、そのすぐそばに座ったり体をくっつけてきたりする



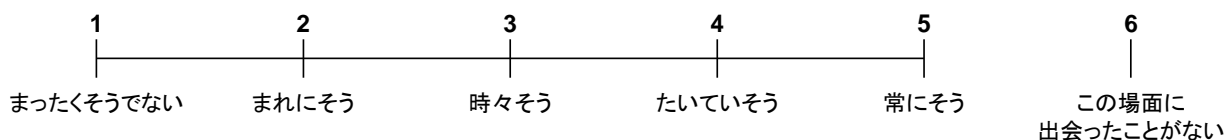
Q75. あなたや家族の誰かが座っていると、注意を引こうとして、前足でつついたり、鼻をつけたりしてくる



Q76. あなたもしくは家族の誰かが他の人の相手や世話などをしていると、クンクン鳴いたり飛び上がったたり、割って入ろうとしてくる



Q77. あなたもしくは家族の誰かが他の犬や動物の相手をしていると、クンクン鳴いたり飛び上がったたり、割って入ろうとしてくる

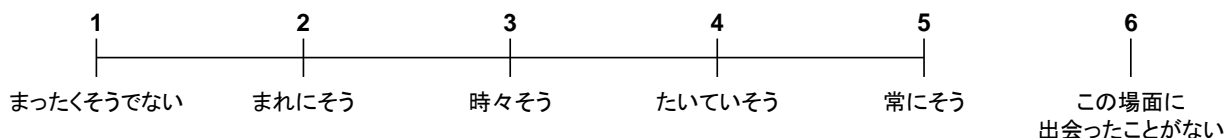


その他の行動について

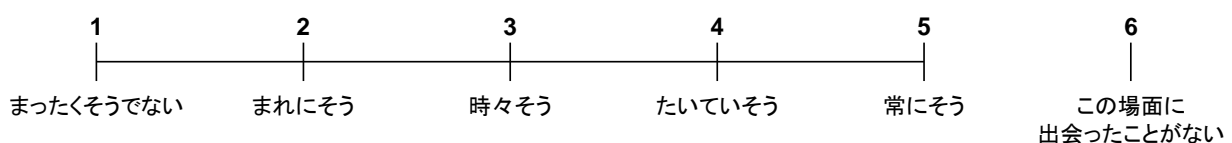
犬は、これまで質問してきたような項目だけでなく、他にも様々な問題行動を示します。最近の出来事を思い出し、対象犬が示す以下のような行動の頻度について、最も該当すると思う数字に○をつけてください。



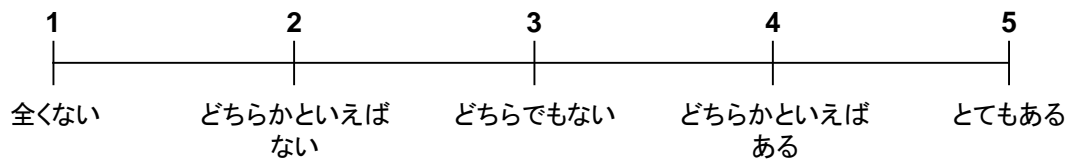
Q78. 機会さえあれば、ネコを追う、あるいは追いかけようとする



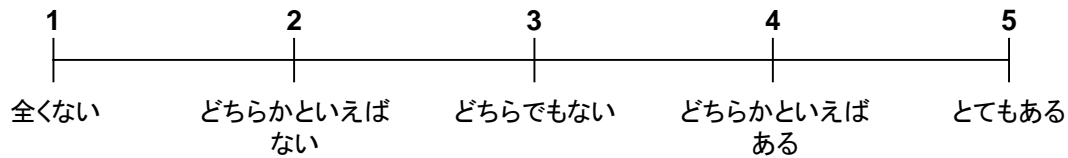
Q79. 機会さえあれば、鳥（スズメ、鳩など）を追う、あるいは追いかけようとする



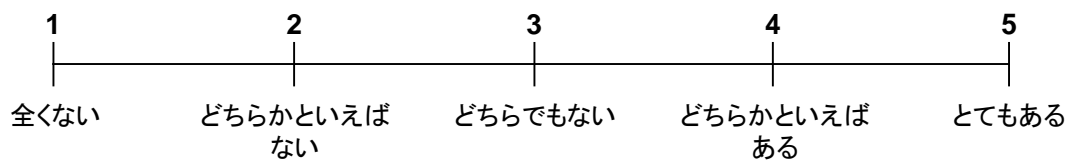
Q1-4. 甘噛みが気になること



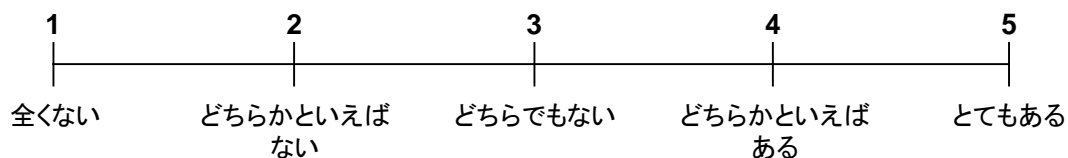
Q1-5. 引っ張りグセが気になること



Q1-6. 飛びつきグセが気になること



Q1-7. 食糞が気になること



上記選択肢の他に、愛犬の行動について気になることがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

2. 愛犬の気になる行動を解決するために、あなたがしたことを全て選んでください。

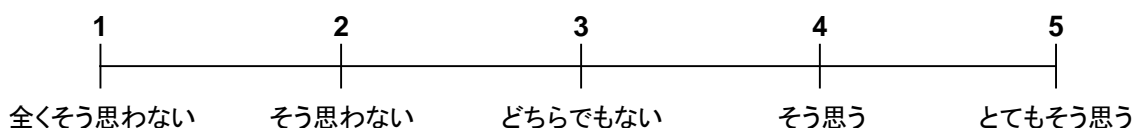
※ 選んだ選択肢が複数ある場合、マークシートは複数塗りつぶしてください。

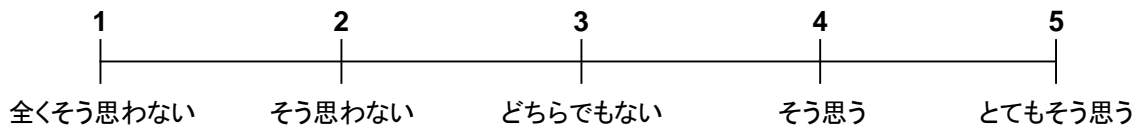
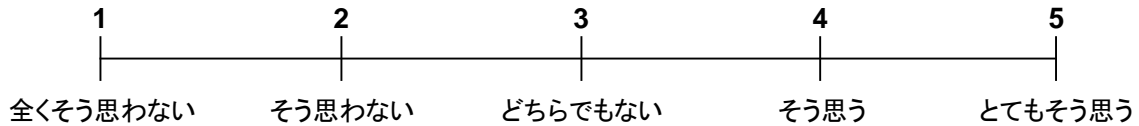
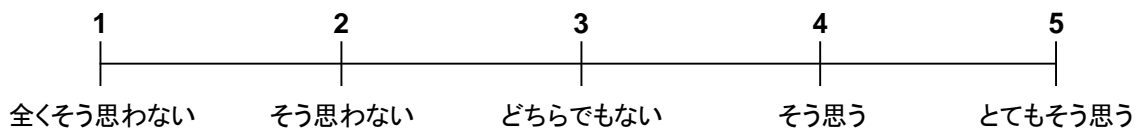
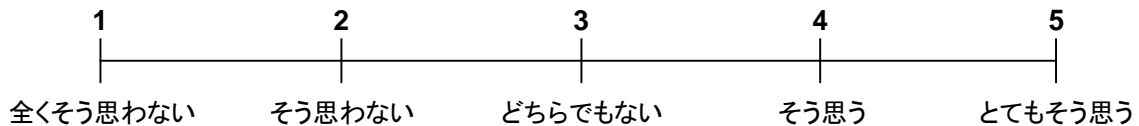
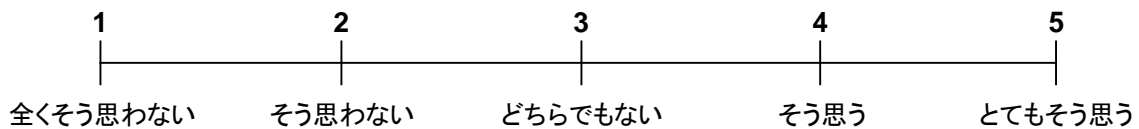
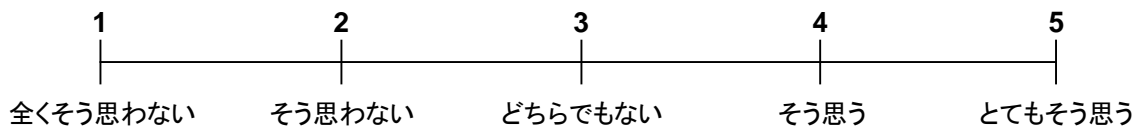
- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分で調べた | 6. ペットフードメーカーに相談した |
| 2. 家族に相談した | 7. ペットショップに相談した |
| 3. 友人に相談した | 8. 動物病院に相談した |
| 4. トリミングサロンに相談した | 9. その他 |
| 5. トレーナーに相談した | 10. 何もしなかった |

3. あなたは、愛犬と暮らして良かったと思うことはありますか？

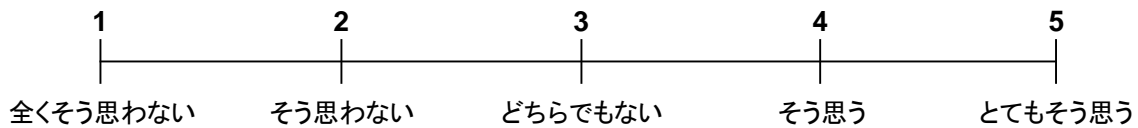
該当するものを選んでください。

Q3-1. 健康的になった



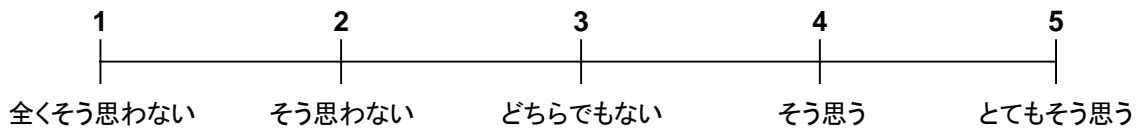
Q3-2. 運動不足を感じなくなった**Q3-3. ストレスを抱えなくなった****Q3-4. 孤独感を感じなくなった****Q3-5. ハリのある生活を送れるようになった****Q3-6. 生活に潤いや安らぎを実感できるようになった****Q3-7. 自分に自信が持てるようになった****Q3-8. 人とのコミュニケーションが増えた****Q3-9. プラス思考になった**

Q3-10. 子どもの成長に良い影響を与えた



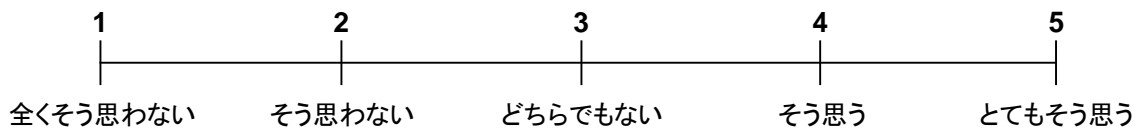
上記選択肢の他に、愛犬と暮らして良かったと思うことがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. あなたは、また犬（猫）を飼いたいと思いますか？該当するものを選んでください



Q5. あなたは、友人等に犬（猫）の飼育を勧めたいと思いますか？

該当するものを選んでください



Q6. あなたは、これまで犬（猫）の飼育経験がありましたか？該当するものを選んでください

1. ある 2. ない

Q7. 調査対象の犬（猫）の他に同居している犬（猫）はいますか？

該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

Q8. あなたと同居している家族はいますか？該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

Q9. あなたは週に何回くらい愛犬を散歩等に連れていきますか？

該当するものを選んでください

1. 0回 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5～6回 5. 毎日

設問はこれで以上です。
多くの設問の回答を選んで頂き、ありがとうございます！

選んだ回答を、マークシートに記入してください。

全設問に回答して頂くと、希望される方に対して、**愛犬の性格（行動特性）診断**と、それに対する**動物行動学的なアドバイス**をお送りさせていただきます。